



元気通信

ブダペスト日本人学校

学校だより

平成28年12月 2日号

【おはなし会 小学部1・2年生】(1・2年担任 原田・日原)

11月21日(月)の2時間目に、図書ボランティアのみなさんによる『おはなし会』がありました。今回の『おはなし会』では、「こんとあき」「もっちゃう もっちゃう もうもっちゃう」「じゅげむ」「わらしべちょうじゃ」「アイウエ王ものがたり」など、「絵本の読み聞かせ」だけでなく、「紙芝居」や「パネルシアター」など、実に様々な方法でおはなしの世界に子どもたちを引き込んでいただきました。子どもたちにとっては、本に親しむよい機会になったと思います。「本のおもしろさ」を、内容と共に、「表し方」でもお伝えいただいた図書ボランティアの皆様方、本当にありがとうございました。



【授業研究⑤ 中学部道徳】(授業者 仲川・雨森 教科領域主任 大久保)

今回の研究授業は、仲川がT1、雨森がT2となり、中学部合同の道徳を行いました。事前に中学生全員にアンケートを取った結果、日本人にはよくあいさつしているが、ハンガリーの人にはあまりあいさつをしていないという実態が分かりました。そこで生活経験に即して「自分たちのあいさつを見つめ直そう」をテーマに日本人とハンガリー人のあいさつに対する考え方を知り、グループで気づいたことを意見交換して学び合いました。教材に関しては、現地教材の開発という研究テーマに沿って、ハンガリー人の生の声を映像で伝えようと考えました。生徒たちにはやはり映像の持つインパクトは効果的で、映像から多くのことを学び取っていました。あいさつはとても大事であるというハンガリー人の考えに新たな発見をした生徒も多かったです。

日々の生活の中で、日本人だけでなくハンガリーの人にも普通にあいさつをしている姿が少しでも見られれば、この道徳の授業の成果があったと考えます。(仲川)

今回の研究授業では、子どもたちが学びを活用する機会を生み出すことを意識した授業づくりを目指しました。本時では、子どもたちの生活経験を想起させ、そこから自分たちのあいさつを見直すという本時の課題につなげることができていました。また、学習の終わりには今後の自分につなげて考えることができていました。一時間の中で、自分たちの生活をベースに考えることで活用することを意識した授業づくりができたと考えます。

事後検討会では、子どもたちの記述だけをとらえるだけでは、子どもの変容を見とることは難しいという意見が出されました。この課題については、あえて設定するのではなく、日々の生活の中で学びを活かしている姿を認め、賞賛していくことやロールプレイなど実際に体験してみることなどの案が出されました。

今回は、これまでの研究の成果をもとに、2月に研究のまとめの授業を行います。これまでの我々の授業研究の成果が、日々の授業に生かされ、さらに来年度の研究へとつながっていくよう、精進してまいります。

【新しいコミックブックが届きました】(PTA担当 太田)

PTAバザーによる寄付金で、本年度はコミックブックを購入しました。みんなに読んでもらおうと、PTA役員の方々がこれまで長い間、準備されてきました。コミックの貸し出しは3学期からとなります。ルールを守って読書を楽しみましょう。



【児童生徒会活動】（児童生徒会担当 甘利・佐藤）

後期児童生徒会では、前期の取り組みを受けながら、これまでにはない新しい取り組みにチャレンジしています。その一例として、学級ごとの「アルバムづくり」があります。このアルバムづくりは、児童会会長の佐脇さんと副会長の児玉さんが企画・運営の中心となっています。具体的には、月ごとにテーマを決め、学級ごとにテーマに沿った写真とコメントを掲載していきます。11月のテーマは「ドナウ祭」です。

はじめての取り組みなので、最終的にどのようなものが仕上がっていくのかわかりませんが、これまでにはなかった取り組みにチャレンジしようとする子どもの意欲を大切に、子どもたちが自ら創り上げていく活動を実現していきたいと思います。

【終業式の下校時間】

12月20日（火）に今学期の終業式が行われます。その日は**全学年5時間授業で、15時一斉下校**となります。どうぞ宜しくお願い致します。